

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
会社法	～218	2年生・前期	2単位	選択	山崎 淳司	
履修の前提条件	「法学」を履修していることが望ましいです。					
授業概要 (Course Outline)						
会社の法的な仕組みを学んでいきます。まず、会社の法的な性質を理解できるようになった上で、会社の種類ごとの法的な性質の違いを学びます。その後、株式会社の4つの類型を学んで、株式会社の各機関(株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、委員会等)の機能を理解できるよう授業を進めます。最後に取締役にどのような責任が課せられているかを学んでいきます。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
生涯学習力 Lifelong Learning						
到達目標 (Objectives)						
株式会社、合同会社についての法的な知識を修得して、ビジネス社会で必要とされる汎用的技能を身に付けます。具体的には、株式会社、合同会社の法的な知識を修得して、ニュース、新聞等の経済報道をより正確に理解できるようになることを目指します。更に株式会社の各機関の役割について知識を身に付け、役員(主に取締役)の法的な責任を深く理解することで、ビジネス社会において法的なリスクを回避できる汎用的技能を修得を目指します。						
事前学習の内容	授業の最後に次回の授業内容を簡単に告知するので、教科書等を使い語句等の意味を調べておいて下さい。					
事後学習の内容	教科書、条文プリント、レジュメ、スライドを読み返し、授業の内容についての理解を深めておいて下さい。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
株式会社について自主的にテーマを設定して、レポートを作成してもらいます。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
金曜・2時限の授業後に連絡、質問、相談等を受け付けます。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
学習の確認: 授業の最初に前回の内容について質問を行いますので、積極的な発言を期待します。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	ガイダンス・会社法とは。		
第2回	会社の法的意義 (営利社団法人とは)		
第3回	持分会社 (合名会社、合資会社、合同会社)		
第4回	持分会社の社員の責任(無限責任社員、有限責任社員)		
第5回	株式会社と持分会社の比較(有限責任、投下資本の回収方法)		
第6回	株式会社の類型(1)(取締役会非設置会社、取締役会設置会社)		
第7回	株式会社の類型(2)(指名委員会等設置会社、監査等委員会設置会社)		
第8回	株式会社の役員、機関(監査役、会計参与、会計監査人、監査役会)		
第9回	公開会社と非公開会社(譲渡制限株式、公開会社、公開会社と取締役会設置会社)		
第10回	取締役の責任(1)(委任関係、善管注意義務、忠実義務)		
第11回	取締役の責任(2)(経営判断の原則、監視義務、任務懈怠)		
第12回	取締役の責任(3)(利益相反取引、株主代表訴訟、取締役の第三者責任、責任減免)		
第13回	監査役、会計参与及び会計監査人の責任(適法性、違法性、妥当性)		
第14回	株式の譲渡(株主名簿、株券の交付、振替株式制度)		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
現代商法入門(第10版)	近藤光男編	有斐閣	9784641221208
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
会社法判例百選(第3版)	岩原紳作、神作裕之、他編	有斐閣	9784641115309
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>成績評価方法: 定期試験95% 平常点(レポートの提出状況等)5%。 成績評価の基準: ①会社の特徴について理解をしているか。②株式会社、合名会社、合資会社、合同会社のそれぞれの性質の違いを理解しているか。③株式会社のうち取締役会を設置することで機関の権限にどのような違いが出てくるかを理解しているか。④株式会社の指名委員会等設置会社、監査等委員会設置会社を理解しているか。⑤取締役にどのような責任が課せられているか説明できること。</p>			